

第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略に係る総括及び今後の取組の方向性

1 子どもが輝く未来の創生「やわた子ども未来プロジェクト」

この状況の達成	目標値を達成(◎)	4件	22%
	「前年度実績」より前進または同値(○)	9件	50%
	「前年度実績」より後退(△)	5件	28%

基本目標	現状値(H30)	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	目標値(R6)	達成状況	左記4年間の実績の評価及び次期総合戦略の策定に向けた取組の方向性	
将来への夢や目標を持つ子どもの割合	小学生(6年生)	79.9%(R1)	76.8%	76.5%	74.1%	80.7%	90%	○	小学校においては、H30年度と比較してほぼ同値、中学校においては、年々低下の傾向にある。現在取り組んでいる様々な体験活動や外部人材による学習から学ぶ多様な生き方や体験を大切するとともに、学習機会やICTを活用した学習内容の充実等、実際に目標を実現する力を伸ばす取組を進めたい。
	中学生(3年生)	66.2%(R1)	63.9%	62.3%	58.5%	58.1%	80%	△	
子育てが楽しいと思う保護者の割合	53.8%	R5取得予定	R5取得予定	R5取得予定	76.5%	70%(R5)	◎	子育てが楽しいと思う保護者の割合が大きく増加し、目標値を達成することができたが依然として、楽しくないと感じている保護者もおられる。子育てに不安・負担に感じている保護者のニーズに対応した子育て支援サービスの充実を図る。	
子育て世代の転出入者	▲146人	▲190人	▲7人	47	未公表	0人以上	◎	対象である15歳～49歳の転出入者の状況は、転入超過となっている。しかしながら、転入超過に寄与しているは20代の外国人であり、同世代の日本人は転出超過の状況が継続している。今後、外国人を受け入れつつ、日本人も定住し続けられるようなまちづくりが必要となっている。	

<各施策の具体的事業の進捗状況>

(1) 次代を生きる力の育成

KPI	現状値(H30)	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	目標値(R6)	達成状況	左記4年間の実績の評価及び次期総合戦略の策定に向けた取組の方向性	
全国学力・学習状況調査結果(小学校6年生)	国語	94.0(R1)	未実施	97.4	97.6	99.7	100	○	もともと高かった小学校算数は目標達成まであと一歩のところまで到達しているが、国語は現状値からの大きな改善は見られない。新指導要領に示された指導と評価の一体化を進めるため、計画訪問等を通じて授業実践の質を高めるとともに、ICTを活用した個別化された学習や指導者による個に応じた支援を進めることで学力向上を図りたい。
	算数	96.1(R1)	未実施	94	96.5	96.0	100	△	
全国学力・学習状況調査結果(中学校3年生)	国語	89.3(R1)	未実施	94.4	91.3	94.6	100	○	国語、数学ともに当初値より目標値に大きく近づいた。新指導要領に示された指導と評価の一体化を進めるため、計画訪問等を通じて授業実践の質を高めるとともに、ICTを活用した個別化された学習や指導者による個に応じた支援を進めることで学力向上を図りたい。
	数学	85.3(R1)	未実施	90.9	83.7	92.2	100	○	
市内不登校児童生徒出現率	小学生	0.95%	1.08%	1.12%	1.61%	1.95%	0.7%	△	不登校児童生徒の増加は全国的な傾向であり、八幡市も同様の傾向を示している。教育支援教室「さつき」で支援した児童生徒の学校復帰率は上昇していることから、不登校児童生徒を支援につなげることが大切であると考え。よりよい支援につなげるために、アウトリーチや教育支援センターの受入手順の見直し、学校や関係機関との連携を強化していきたい。また、ICTを効果的に活用することで支援や関係機関との連携を充実させていきたい。
	中学生	5.80%	5.70%	6.54%	7.06%	6.79%	3.7%	△	

① 就学前保育・教育の充実

事業	R2	R3	R4	R5
幼少連携教育推進プロジェクト(幼小架け橋プロジェクト)	小学校入学後のスタートカリキュラムや入学前のアプローチカリキュラムの作成に向けた研究・検討	⇒	⇒	⇒
公立保育園・認定こども園運営 待機児童0の継続、トイレの乾式化、使用済み紙おむつの委託回収、教材費の保護者負担制度の廃止、京都府産木材を活用した園備品の整備等	運営	⇒ みどりの園庭づくり事業 (わかたけ保育園園庭芝生化)	⇒ 拡大 (橋本幼稚園園庭芝生化)	⇒ 拡大 (みその保育園敷地内一部芝生化)
多言語翻訳機配置(公立)	設置	⇒	⇒	⇒

② 学校教育の充実

事業	R2	R3	R4	R5
学力向上推進	<ul style="list-style-type: none"> 学習支援員配置 55人 スクールソーシャルワーカー配置 4人(市単独2人) 英語検定受験支援 受検生徒数 953人 	<ul style="list-style-type: none"> 学習支援員配置 48人 スクールソーシャルワーカー配置 4人(市単独2人) 英語検定受験支援 受検生徒数 1,071人 	<ul style="list-style-type: none"> 学習支援員配置 50人 スクールソーシャルワーカー配置 4人(市単独2人) 英語検定受験支援 受検生徒数 1,061人 	<ul style="list-style-type: none"> 学習支援員配置 54人 スクールソーシャルワーカー配置 4人(市単独2人) 英語検定受験支援 受検生徒数 1,078人 機動的児童生徒個別支援事業 延べ配置 3人
学校改革推進	<ul style="list-style-type: none"> 小中一貫教育推進(コーディネーター配置) こども会議開催 9回 	⇒	⇒	⇒
地域で支える学校教育推進 全中学校区に設置された各学校支援地域本部に対し、学校と地域との連携を図る地域コーディネーターを配置し、活動経費の一部を助成 小・中学校区地域連携団体に対し、連携事業・学校支援事業・児童生徒のふるさと体験学習・特別体験学習の推進に向けた活動費の一部を助成	<ul style="list-style-type: none"> 学校支援地域本部活動支援(コーディネーター配置) 4人(活動助成)4団体 地域連携教育活動助成 12団体 	⇒	⇒	⇒
小中学校屋内運動場等空調設備等整備	(小学校) - (中学校) 男山中学校整備 男山東中学校整備	(小学校) 南山小学校整備 橋本小学校整備 (中学校) -	(小学校) くすのき小学校整備 さくら小学校整備 (中学校) -	(小学校) 中央小学校整備 美濃山小学校整備 (中学校) -
GIGAスクール構想 新たな学びのためのICT教育環境の充実のため、児童生徒1人1台の端末配備と全小中学校の高速ネットワーク整備等を実施	<ul style="list-style-type: none"> iPad5,500台整備 高速無線LAN等整備 	<ul style="list-style-type: none"> ICT支援員配置 システム保守委託 休業時貸出用ルータ通信費 	⇒	⇒

③ 配慮が必要な子どもへの支援体制の充実

事業	R2	R3	R4	R5
スタディサポート事業(鳩嶺教室) 経済的に困難な家庭の小学4年生以上の児童及び中学生を対象に、民間教育機関による学習機会を提供	継続 受講者数 中学生 119人	⇒ 対象拡大 (小学校4年生以上) 受講者数 中学生 156人 小学生 74人	⇒ 受講者数 中学生 145人 小学生 54人	⇒ 受講者数 中学生 139人 小学生 66人
特別支援教育支援員配置 学校生活上の介助や学習支援を行う「特別支援教育支援員」を配置	配置 18人	⇒ 配置 18人	⇒ 配置 19人	⇒ 配置 21人 特別支援教育ソフトウェアの導入
教育支援センター運営 不登校解消に向けた学校との連携や不登校児童生徒の学校復帰のための「さつき教室」を運営	運営 学校復帰率 69%	⇒ 学校復帰率 71%	⇒ 学校復帰率 74%	⇒ 学校復帰率 80%
日本語支援員・母語通訳者派遣	日本語支援員・母語通訳者を市内小中学校に派遣	⇒	⇒	⇒

④ 地域の学びを通じたグローバル教育等への注力

事業	R2	R3	R4	R5
子ども国際交流 友好都市マイラン村への訪問・交流	中止	-	-	-
八幡市・八幡浜市中学生交流 郷土に対する誇りと魅力を再認識し、豊かな人間性や社会性を育むことを目的として、二宮忠八翁の縁でつながる愛媛県八幡浜市と本市の中学生による体験活動を通じた交流を実施	中止	中止	八幡市で交流実施	八幡浜市で交流実施

(2) 好奇心・探究心と夢を掴む力の育成

KPI	現状値(H30)	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	目標値(R6)	達成状況	左記4年間の実績の評価及び次期総合戦略の策定に向けた取組の方向性	
新・放課後子ども総合プラン実施箇所数	一体型	—	0か所	0か所	0か所	0か所	4か所	○	市内全小学校5・6年生を対象にやわら放課後学習クラブを実施し、学習の場の提供及び支援を行い、自学自習力と学習意欲の向上及び放課後の居場所づくりを図った。また、小学校3年生及び4年生を対象とした特別講座を実施し、放課後の学習の場及び居場所の提供を図った。 「新・放課後子ども総合プラン実施箇所数」について、特別講座の実施により対象学年を拡大したが、場所や指導者確保の課題があり、「全ての児童」を対象とできていないことから、実績を挙げるには至っていない。 やわら放課後学習クラブ事業の対象年齢及び実施内容の拡大を段階的に図りながら、放課後児童健全育成施設と放課後学習クラブとの連携により、令和5年度をもって終了した「新・放課後子ども総合プラン」の方向性を継承し推進する。
	連携型	—	0か所	0か所	0か所	0か所	4か所	○	
子どもわくわく教室開催数	7教室	3教室	7教室	8教室	9教室	9教室	◎	現状値(H30)の7教室より2教室新たに開設。多様な教室を開催し子どもの好奇心・探究心を育むきっかけとなった。今後もスポーツや文化に触れる機会及び場所の提供を継続する。	

① 好奇心・探求心を抱く機会の創出

事業	R2	R3	R4	R5
やわた放課後学習クラブ	運営 延べ参加人数 5,033人	⇒ 延べ参加人数 7,560人	⇒ 延べ参加人数 5,343人	⇒ 延べ参加人数 5,631人
子どもわくわく教室 スポーツや文化体験を通し、自主性・協調性を備えた心豊かな子どもたちを育む	3教室実施	7教室実施	8教室実施 スケートボード 教室開設	9教室実施 将棋教室開設
【R5終了】楽しい学校づくり支援 各小学校において、独自企画や国府等の事業活用によるスポーツ・文化芸術活動等の取組を支援	実施	⇒	⇒	⇒
農業体験 小学生を対象に、八幡農業ボランティア会の協力を得て農業体験学習を実施	実施	⇒	⇒	⇒

② 夢にふれる機会の創出

事業	R2	R3	R4	R5
「夢の教室」実施 現役・OBのスポーツ選手が講義・実技指導を実施	中止	⇒ (オンライン)	⇒ (オンライン)	⇒
【R5終了】仕事・文化体験活動 小中学校の希望校を対象に、地域の伝統や文化を大切にす心や豊かな人間性をはぐくみ、未来の創り手となるよう育成を支援	実施	⇒	⇒	-

(3) 結婚から子育てまで一貫したサポートの充実

KPI	現状値(H30)	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	目標値(R6)	達成状況	左記4年間の実績の評価及び次期総合戦略の策定に向けた取組の方向性
保育園待機児童数	0人	0人	0人	0人	0人	0人	◎	引き続き、公立の就学前施設の弾力的な運用や私立の就学前施設への積極的な支援などによって、待機児童ゼロを継続的に実現する。
認定こども園の数	5か所	5か所	5か所	5か所	5か所	7か所	○	国の補助制度等が充実している私立では認定こども園が4園ある一方で、公立では1園のみとなっている。そのため、令和3年度に策定した「八幡市立就学前施設再編の基本方針」に基づき、公立就学前施設の統廃合や認定こども園化を進め、1施設当たりの適切な園児数を確保しながら民間との協働による教育・保育内容の一層の充実を図る。
3歳児健康診査受診率	94.2%	63.9%	79.7%	63.9%	93.3%	95.0%	○	令和2年度以降、コロナ禍で受診率が低下していたが令和5年度にはコロナ禍以前まで受診率が向上。今後も受診率の増加と未受診の子どもの実態把握に努める。
こんにちは赤ちゃん訪問事業の訪問率	92.6%	77.8%	78.1%	77.8%	92.7%	95.0%	○	出産・子育て応援事業と併せ、妊娠期から出産・子育て期まで一貫して身近で相談・支援を行う伴走型相談支援の充実を図る。
ファミリーサポートセンター登録会員数	411人	426人	417人	426人	418人	435人	△	会員数は横ばいの状況であるが、利用件数は増加傾向で、ニーズの高いサービスとなっている。今後、電子申請の導入により、利便性を向上させるとともに、サポート会員確保に向けた取組を強化することで、サービス提供体制の充実を図る。

① 結婚・妊娠・出産・子育て環境の整備と充実

事業	R2	R3	R4	R5
産前・産後ヘルパー派遣	実施 延べ143回 延べ160時間	⇒ 延べ32回 延べ34.5時間	⇒ 延べ145回 延べ150時間	⇒ 延べ187回 延べ186.5時間
産後ケア(訪問型・宿泊型)	実施 延べ18件	⇒ 延べ11件	⇒ 延べ14件	⇒ 延べ4件
子育て支援センター運営 市内3か所の子育て支援センターにおいて、育児の不安解消を目的に、相談や指導、育児支援を実施する他、子育て中の親子の交流等を促進	運営 利用延べ人数 22,600人	⇒ 利用延べ人数 24,313人	⇒ 利用延べ人数 24,911人	⇒ 利用延べ人数 23,878人
公立就学前施設の再編 令和6年4月にみその保育園と八幡幼稚園を統合し、「やわたこども園」に再編済	再編検討	⇒ 「八幡市立就学前施設再編の基本方針」策定	⇒ 職員説明会、保護者説明会の開催	⇒ 一部再編に向けた環境整備等
民間保育園・認定こども園振興	民間園助成	⇒	⇒	⇒
第三子以降の3歳未満児に係る保育料の無償化(市独自で所得制限を撤廃)	-	-	-	実施
おひさまテラス助成 男山地域の地域子育て支援施設「おひさまテラス」に対し、事業費の一部を助成	助成 利用児童685人	⇒ 利用児童519人	⇒ 利用児童889人	⇒ 利用児童784人

② 子ども・妊産婦の保健体制の充実

事業	R2	R3	R4	R5
こんにちは赤ちゃん訪問事業 生後4か月までの乳児がいる家庭を訪問し、身体計測、育児相談を実施	実施 訪問率 77.8%	⇒ 訪問率 72.2%	⇒ 訪問率 76.2%	⇒ 訪問率 92.7%
乳幼児健診(4か月児、1歳8か月児、3歳児)、10か月児育児健康相談	実施	⇒	⇒	⇒
妊婦保健指導	実施 562人	⇒ 拡大 歯科検診に係る一部費用の助成 619人	⇒ 676人	⇒ 517人
産婦保健指導 産後うつ等の予防や新生児への虐待予防等を図る観点から、出産後間もない時期の産婦に対し、健康診査を実施	実施 181人	⇒ 343人	⇒ 352人	⇒ 397人

③ 安心して子育てできる相談・医療体制の充実

事業	R2	R3	R4	R5
家庭児童相談室運営	運営	⇒	⇒	⇒
母子健康センター管理運営	運営	⇒	⇒	⇒
子育て支援医療給付 中学校卒業する15歳までの子どもの医療費一部負担金を助成。	給付 79,186件	⇒ 91,399件	⇒ 96,657件	⇒ 高等学校を卒業する18歳までの子どもへ対象を拡大 109,914件

④ 働く大人の子育てサポート

事業	R2	R3	R4	R5
病児保育 病児保育を実施する医療機関に対し事業費の一部を助成するとともに、病児保育を利用する低所得世帯等に対し利用料を助成	助成 延149人利用、延11件助成	⇒ 延237人利用、延20件助成	⇒ 延134人利用、延3件助成	⇒ 延218人利用、延12件助成
放課後児童健全育成 小学校内や児童センターなど市内9施設において実施	実施 利用者 延149,587人	⇒ 利用者 延150,022人	⇒ 利用者 延146,253人	⇒ 利用者 延152,652人
地域による寺子屋事業(家庭学習応援) 地域のボランティアによる放課後の学習支援や支援コーディネータによる家庭への働きかけにより、学力向上と家庭における教育への意識向上を図る	-	-	-	実施 延1,238人参加

2 健康都市の創生「やわたスマートウェルネスシティプロジェクト」

この状況の達成率	目標値を達成(◎)	2件	16%
	「前年度実績」より前進または同値(○)	5件	42%
	「前年度実績」より後退(△)	5件	42%

基本目標	現状値(H30)	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	目標値(R6)	達成状況	左記4年間の実績の評価及び次期総合戦略の策定に向けた取組の方向性	
健康クラウドシステム	からだの状況とライフスタイル 「からだの状況」: 身体的な健康状態を示す指標(血圧、BMI等) 「ライフスタイル」: 日常的な行動や習慣(運動量、睡眠時間等)	1.5/5.0	1.0/5.0	1.0/5.0	2.5/5.0	算出中	3.5/5.0	○	この間、各種取組を推進した結果、新型コロナウイルス流行というタイミングと重なったが、健康づくりの取組が浸透し定着していく流れとなり、各指標において数値が上昇している。「からだの状況とライフスタイル」に関連する項目では、やわた未来いきいき健康プロジェクト、ソーシャルアクティビティに関する項目では、住民主体の介護予防事業の推進などが影響していると考えられる。SWCインフラの項目は、本市のコンパクトな市域や健康づくりの推進にあたり事業者との連携などが進んでいる点が評価を受けているものと考えられる。 今後も、社会保障費の抑制など社会的な課題を解決し、持続可能なまちであり続けるために、今後も、健康まちづくりの取組を継続して推進していきたい。
	ソーシャルアクティビティ 社会的な関わりや参加を示す指標(地域活動やボランティアへの参加等)	1.5/5.0	1.5/5.0	1.5/5.0	3.0/5.0	算出中	3.5/5.0	○	
	スマートウェルネスシティインフラ 身体的な活動や社会的な交流を増やす都市環境やサービスを示す指標(歩行や自転車に優しい道路や公園の整備等)	2.0/5.0	3.0/5.0	3.5/5.0	4.0/5.0	算出中	4.0/5.0	◎	

<各施策の具体的な事業の進捗状況>

(1) スマートウェルネスシティやわたのプロモーション

KPI	現状値(H30)	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	目標値(R6)	達成状況	左記4年間の実績の評価及び次期総合戦略の策定に向けた取組の方向性
定期的に運動をしている市民の割合	58.9%(H28)	R3取得予定	58.7%	R9取得予定	R9取得予定	67.5%	△	この間の指標は、微減となっているが、新型コロナウイルスの流行に伴い、外出の制限や生活環境の変化がある中で、感染症流行前とほぼ同値であることはむしろ評価できるものと考えられる。今後指標の数値を高めていくためには、「やわた未来いきいき健康プロジェクト」や「やわたミドルクラブ」など”日常”の中で運動を組み込み、習慣化を図ることができる取組を広げていく必要があると考える。
健康づくりイベント参加者数	2,500人	684人	400人	490人	1,089人	4,000人	○	イベントについては、期間中に新型コロナウイルスの流行があったため、中止や規模縮小を余儀なくされた。また、令和元年度をもって参加人数が多かった「健康フェスタ」を終了したことで、イベントの参加人数は当初より少なくなっている。今後は、参加人数ではなく、参加した人がどのようにアプローチし、結果としてどのように変化したかを意識したイベント実施、評価体制としていきたい。

① 「やわたスマートウェルネスシティ構想」及び「スマートウェルネスシティ計画」の推進

事業	R2	R3	R4	R5
やわたスマートウェルネスシティ構想・計画推進 市民が「健康」で「幸せ」を感じ生き活きと暮らすことができるまちをめざす構想及び計画に基づき、各種施策を推進	計画推進	⇒	⇒	⇒ 計画改定
健康クラウドシステム運用 国民健康保険等のデータを一元化し自治体が抱える健康課題を分析し、施策立案を実施	運用 令和元年度データ分析	⇒ 令和2年度データ分析	⇒ 令和3年度データ分析	⇒ 令和4年度データ分析

② 健康プロモーションの推進

事業	R2	R3	R4	R5
健康マルシェ 健康クラウドの分析結果に基づく健康づくり啓発イベントを開催	中止	⇒ 2回開催	⇒ 2回開催	⇒ 2回開催

<p>やわたヘルスプロモーション 地域コミュニティの中で「ロコミ」により健康無関心層にアプローチすることを目的に実施 児童が高齢者等にスポーツ・健康づくりの重要性を伝える「キッズ健幸アンバサダー」を養成</p>	<p>実施 アンバサダー養成39名 累計449名</p>	<p>⇒ アンバサダー養成64名 累計513名</p>	<p>⇒ アンバサダー養成23名 累計536名</p>	<p>⇒ 拡充 アンバサダー養成50人 累計586人 キッズ健幸アンバサダー288人</p>
---	-----------------------------------	----------------------------------	----------------------------------	---

(2) 市民協働で行う高齢者の健康づくり

KPI		現状値(H30)	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	目標値(R6)	達成状況	左記4年間の実績の評価及び次期総合戦略の策定に向けた取組の方向性
産官学と地域連携によるコミュニティ運動教室	実施箇所数	5か所	5か所	7か所	7か所	7か所	20か所	○	会場数、参加者数ともにやや伸ばすことができたが、定期的に教室を開催できる会場の設定や、安定して教室運営ができるサポーターの体制整備に課題を有しており、目標値には及んでいない。今後は、現行の教室の運営体制について改めて検討し、サポーターが負担感なく活動できる環境整備と、会場を幅広く設定できるよう小規模教室の拡大に取り組みたい。
	参加者数	106人	93人	118人	136人	157人	500人	○	
平均寿命と健康寿命の差	男性	1.80歳	1.96歳	2.22歳	1.98歳	算出中	現状値より縮小	△	厚生労働省が5年ごとに発表する健康寿命では、八幡市は平均寿命の伸び率が大きく、全国的な順位も大きく上がっている。様々な取組を実施する中で、健康寿命も徐々に延びてはいるところであるが、男性においては、その差がやや拡大している。今後は、両性とも健康寿命を延ばせるよう取り組みたい。
	女性	4.09歳	4.06歳	3.79歳	4.00歳	算出中	現状値より縮小	◎	

① 地域で行う健康づくり体制の充実

事業	R2	R3	R4	R5
【R4終了】絆ネットワーク構築支援 男山地域にコーディネーターを配置し、地域のネットワーク構築等を支援	構築支援 コーディネーター配置1名	⇒ コーディネーター配置1名	⇒ コーディネーター配置1名 R5年度より	- 「わたしたちの談話」プロジェクトと統合
「わたしたちの談話」プロジェクト 地域福祉活動やボランティア活動への参加促進のための座談会を、八幡市社会福祉協議会と協働で提供	座談会開催 2回	⇒ 9回	⇒ 9回	⇒ 絆ネットワーク構築支援と統合 17回

② 健康寿命を延ばす習慣の定着・促進

事業	R2	R3	R4	R5
高齢者健康相談	実施 延15回実施 相談69人	⇒ 延15回実施 相談56人	⇒ 延14回実施 相談51人	⇒ 延12回実施 相談35人
高齢者健康長寿普及啓発	普及啓発 出前講座 9団体162人 運動普及 3団体43人	⇒ 出前講座 7団体137人 運動普及 0団体	⇒ 出前講座 2団体24人 運動普及 0団体	⇒ 出前講座 5団体90人 運動普及 4団体
健康コミュニティ推進 公民館等に音楽機器を設置し、「うたと音楽」による活動や教室を通じた運動・口腔・認知機能の向上及び地域コミュニティへの参加促進等を図る	設置 2カ所	⇒	⇒	⇒
元気アッププロジェクト 教室を展開していく元気アップサポーターの養成講座及び高齢者の体力測定・分析を実施	実施 養成講座 未実施 体力測定 111人	⇒ 養成講座15人 体力測定 91人	⇒ 養成講座実施なし(隔年実施) 体力測定 98人	⇒ 養成講座24名 体力測定 81人
老人クラブ活動助成	助成	⇒	⇒	⇒

③ 生涯活躍のまちの推進

事業	R2	R3	R4	R5
敬老のつどい・長寿祝い	中止	中止	開催	⇒
シルバー人材センター運営費等助成	助成	⇒	⇒	⇒

④ 地域包括ケアシステムの推進

事業	R2	R3	R4	R5
地域包括支援センター運営	運営 相談件数 延 2,354件	⇒ 相談件数 延 2,636件	⇒ 相談件数 延 2,500件	⇒ 相談件数 延 2,495件
八寿園管理運営 60歳以上の高齢者の憩いと交流を目的とし、高齢者サークル活動や老人クラブ活動の拠点となる八寿園を運営。	運営 利用者 延 7,495人	⇒ 利用者 延 7,810人	⇒ 利用者 延 11,936人	⇒ 利用者 延 13,590人
南ヶ丘老人の家運営	運営 利用者 延 2,520人	⇒ 利用者 延 3,014人	⇒ 利用者 延 4,105人	⇒ 利用者 延 4,094人
都老人の家運営	運営 利用者 延707 人	⇒ 利用者 延234 人	⇒ 利用者 延 301人	⇒ 利用者 延 1,201人

(3) 誰もが気軽に参加できる健幸プログラムづくり

KPI	現状値(H30)	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	目標値(R6)	達成 状況	左記4年間の実績の評価及び次期総合戦略の策定に向けた取組の方向性
ウォーキングマップの認知率	25.7%(H28)	R3取得予定	27.0%	R9取得予定	R9取得予定	40.0%	△	新型コロナウイルス感染症による制限が徐々に緩和されていく中で、ウォーキングイベントなどにおいてマップの周知を行った。日常生活の中でマップを使用するにあたっては、現行の紙のウォーキングマップでは使い勝手が悪く、浸透していかない理由の一つとして考えられる。今後は、アプリの活用等について検討を行っていきたい。
市民スポーツ公園利用者数	157,561人	104,992人	96,707人	128,271人	121,956人	163,200人	△	令和2年度以降は新型コロナウイルス感染症の影響により利用者数が落ち込み、現時点においても回復しておらず、特に屋内施設の市民体育館においては令和元年度比(R2～R5の平均/R1)で約7割と回復が鈍化している。今後は施設のリニューアルや指定管理者による自主事業を充実させるなど魅力ある施設づくりに取り組むとともに、指定管理者とも連携し、市内外に向け施設のPRを行う。
運動公園利用者数	17,560人	13,961人	15,434人	19,921人	18,101人	19,160人	△	

① 健康づくり習慣の定着に向けた世代・嗜好にあった健幸プログラムづくり

事業	R2	R3	R4	R5
やわた未来いきいき健幸プロジェクト 歩数や検診受診等に応じて景品等に交換可能なポイントを付与する健幸づくりインセンティブ事業やスポーツクラブでの運動・栄養補給に関する指導を実施し、健康意識の向上を図る スポーツクラブでの運動・栄養補給に関する指導を実施する「やわたミドルクラブ」を実施	実施 プロジェクト参加者 2,100人	⇒ プロジェクト参加者 3,087人	⇒ 拡充 プロジェクト参加者 3,930人 やわたミドルクラブ参加者 101人	⇒ プロジェクト参加者 4,780人 やわたミドルクラブ参加者 99人
健康教育・セミナー等開催 「やわた健幸づくり推進連携協定」締結先のスポーツジムと連携し、健幸クラウドの分析結果に基づく小学校区単位での健康教室やセミナーを開催するほか、健康手帳の発行や「歯のひろば」を開催	実施・開催 健康手帳発行 35件 歯のひろば未開催 健康教室未開催	⇒ 健康手帳発行 32件 歯のひろば未開催 健康教室5回開催	⇒ 健康手帳発行7件、歯のひろば未開催、健康教室5回開催	⇒ 健康手帳発行3件 歯のひろば参加者309人 健康教室5回開催
市民健康相談 15歳から39歳の方で、職場などで健康診断を受ける機会のない方を対象に、血液検査、血圧測定、尿検査及び保健師・医師による相談を実施	中止	実施 受診者47人	⇒ 受診者93人	⇒ 受診者80人
食生活改善推進 地域で開催される料理教室等、食生活改善推進員による、食にかかると健康推進活動の推進	実施 教室等参加者 283人	⇒ 教室等参加者 518人	⇒ 教室等参加者 893人	⇒ 教室等参加者 1,431人
やわたスポーツカーニバル スポーツの普及・振興に向け、市民にスポーツに親しむ機会を提供し、市民相互の交流するイベントを開催	-	開催 来場者1,069人	⇒ 来場者1,152人	⇒ 来場者 1,210人

② 歩きやすい、歩いて楽しい道づくり

事業	R2	R3	R4	R5
ウォーキング推進	推進 イベント開催 1回 ウォーキングマップの配布	⇒ イベント開催 2回 ウォーキングマップの配布	⇒ イベント開催 2回 ウォーキングマップの配布	⇒ イベント開催 2回 ウォーキングマップの配布
男山自然散策路の整備 ひだまりルート、せせらぎルート、こもれびルート(令和5年3月末で廃止)	整備	⇒	⇒	⇒ 大阪・関西万博を見据え、男山の自然体験や坊跡の歴史を題材としたモニターツアーを開催し、必要な散策路等の環境整備の調査を実施
交通安全施設整備	整備 バリアフリー化 1か所	⇒ バリアフリー化 1か所	⇒ バリアフリー化 1か所	⇒ バリアフリー化 1か所
八幡市公園長寿命化計画推進	計画推進	⇒	⇒	⇒
市民スポーツ施設運営	管理・運営	⇒ スケートボードパーク整備	⇒	⇒
都市公園等管理	管理・運営	⇒	⇒	⇒ 市民スポーツ公園一部芝生化

3 観幸のまちの創生「訪れてよしのやわた魅力向上プロジェクト」

この達成状況	目標値を達成(◎)	1件	11%
	「前年度実績」より前進または同値(○)	4件	45%
	「前年度実績」より後退(△)	4件	44%

基本目標	現状値(H30)	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	目標値(R6)	達成状況	左記4年間の実績の評価及び次期総合戦略の策定に向けた取組の方向性
年間観光入込客数	219万人	175万人	168万人	189万人	185万人	285万人	△	歴史的価値に見合わない知名度の低さとコロナ禍の影響などにより目標達成は困難な状況。 令和6年3月策定観光基本計画では、文化観光の推進により、観光地としての魅力を引き出し、R10目標値として、コロナ禍前の水準を超える261万人を設定している。
年間観光消費額	6.27億円	4.32億円	4.77億円	5.37億円	5.44億円	8.5億円	○	観光消費につながる商品および機会の場が少ない点とコロナ禍の影響などにより目標達成は困難な状況。 令和6年3月策定観光基本計画では、観光からの産業創造を方針に、観光産業の広がりを目指し、R10目標値として、1人当たり単価300円を超える8億円を設定している。
観光情報ハウスへの外国人来訪者数	1,020人	74人	28人	323人	953人	1,800人	○	伸びているものの、大阪・京都と比べ、さらなるインバウンド需要を取り込む余地はある。 令和6年3月策定観光基本計画では、ビッグデータを用い、市内外国人滞在者数に指標を変更し、10年で2倍を目標に、R10目標値として1,800人を設定している。

<各施策の具体的事業の進捗状況>

(1) おもてなしの心の醸成

KPI	現状値(H30)	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	目標値(R6)	達成状況	左記4年間の実績の評価及び次期総合戦略の策定に向けた取組の方向性
ボランティアガイド人数	77人	76人	74人	73人	74人	106人	○	コロナ禍の影響で活動が制限されたこともあり、人数は横ばいとなっている。ガイドの高齢化が課題となっており、若年層へ働きかけ、新規会員の獲得を目指す。
市民文化祭参加者数	3,000人	中止	中止	3,000人	3,000人	3,000人	◎	新庁舎市民プラザを活用した市民大茶会の開催などを行い、広く市民に事業を周知することができた。今後は旧庁舎の解体など環境の変化に対応し、取り組み内容の継続及び更なる発展を図り、本市の文化の発展の先頭を担う事業としていく。
お茶学習参加者数	34人	25人	中止	中止	28人	80人	○	市内小学生を対象にお茶に親しむ機会や八幡の茶文化を学ぶ機会を提供できた。 引き続き八幡市産のてん茶の普及と啓蒙に努める

① 歴史・文化芸術に触れる機会の創出

事業	R2	R3	R4	R5
ふるさと学習館管理運営 文化財や民具等の資料整備及び常設展示・公開・体験学習等を実施	管理運営 ・来館者 173人 ・体験学習 実績なし	⇒ ・来館者 268人 ・体験学習参加者 延22人	⇒ ・来館者 515人 ・体験学習参加者 延27人	⇒ ・来館者 575人 ・体験学習参加者 延38人
文化財講座等開催	開催 講座等開催 1回	⇒ 講座等開催 2回	⇒ 講座等開催 1回	⇒ 講座等開催 3回
名勝松花堂及び書院庭園保存活用	災害復旧工事等	⇒	⇒	⇒
徒然草エッセイ大賞	募集 応募点数 3,564点	⇒ 応募点数 2,733点	⇒ 応募点数 2,698点	⇒ 応募点数 2,404点
市民文化祭開催 市民サークル等が中心となり、絵画、書道、竹細工の展示や太鼓、舞踊等舞台発表の場を整備することにより、市民に多様な文化に触れる機会を創出	中止	中止	⇒ ・来場者 911人 ・舞台発表42団体 ・作品展示343点	⇒ ・舞台発表42団体 ・作品展示408点
音の祭典 in YAWATA開催 市内小中学生、市民団体、合唱団、吹奏楽団等による市民参加型の音楽祭を開催し、音楽を通じた表現の場及び音楽を身近に感じられる場を創出	中止	開催 参加7団体350人	⇒ 参加11団体650人	⇒ 参加10団体1,050人

② お茶のある幸せの風景の創出

事業	R2	R3	R4	R5
お茶の京都普及啓発	空中茶室・閑雲軒を題材に体験VRコンテンツの活用	⇒	⇒	⇒
八幡産てん茶普及啓発	実施 茶会、茶香服大会中止 お茶学習参加人数25人	⇒ お茶席体験参加人数24人 お茶学習中止	⇒ お茶席体験参加人数80人 お茶学習中止	⇒ お茶席体験参加人数80人 お茶学習参加人数28人
子どもわくわく教室【再掲】 スポーツや文化体験を通し、自主性・協調性を備えた心豊かな子どもたちを育む	3教室実施	7教室実施	8教室実施 スケートボード教室開設	9教室実施 将棋教室開設
新・空中茶室創造事業プロジェクト推進事業 石清水八幡宮や門前町の魅力向上のため、「新・空中茶室」の創造	-	-	-	基本構想策定

(2) 幸せと出逢う観光まちづくり

KPI	現状値(H30)	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	目標値(R6)	達成状況	左記4年間の実績の評価及び次期総合戦略の策定に向けた取組の方向性
商品開発数	1	1	1	1	1	2	△	「浜乃風」を商品開発してから、これまで実績はないが、ふるさと納税の返礼品に向けての商品開発に取り組む。
プロモーション(商談会)参加件数	5件	2件	3件	4件	3件	8件	△	コロナ禍の影響もあり、件数は横ばいとなっている。 令和6年3月策定観光基本計画では、特に海外へのプロモーションをアクションプランに掲げており、ビッグデータなどを活用した観光客の動向を把握しターゲットを分析した上で、市内観光施設などと連携し、商談会への積極的な参加に努める。
観光意欲度(全国順位)	375位	388位	450位	396位	384位	200位以上	△	目標達成はできていないが、点数は当初より上がっている。他市町も同様に取り組んだ結果、相対的にランクが低下したと思われる。引き続き、市の認知度向上を図るとともに魅力的な観光まちづくりに努めたい。 (点数の推移:H30が17.5、R2以降が18.4→20.4→21.9→21.6)

① 「観幸のまち やわた」のブランド構築

事業	R2	R3	R4	R5
観光基本計画策定・推進	計画推進	⇒	⇒	⇒ 計画策定
観光協会活動助成	助成 うまいもん祭、春・秋の文化財一斉公開	⇒ 秋の文化財一斉公開・松花堂ウォーク	⇒ 秋の文化財一斉公開・松花堂ウォーク	⇒ 秋の文化財一斉公開・松花堂ウォーク
お茶の京都 DMO 乙訓・八幡広域観光連絡協議会	分担金支出 協議会に参加	⇒	⇒	⇒
歴史文化ものがたりコンテンツ「八幡STORY」PR 八幡の歴史や文化を伝えるウェブコンテンツ「八幡STORY」の国内及びインバウンド向けPR	活用 WEBイベントやパンフレットにてコンテンツへの誘導	⇒ パンフレットにてコンテンツへの誘導・観光地案内機能追加	⇒ パンフレットにてコンテンツへの誘導	⇒ パンフレットにてコンテンツへの誘導
徒然草エッセイ大賞【再掲】	募集 応募点数 3,564点	⇒ 応募点数 2,733点	⇒ 応募点数 2,698点	⇒ 応募点数 2,404点
【R2終了】インバウンド対応情報発信 龍谷大学と連携し、留学生参加のモニターツアー、多言語によるSNS発信等を実施。	やさしい日本語ガイドブック 1,500部、体験動画3本 YouTube配信	-	-	-

SNS市アカウント運営	<p>運営</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Instagramフォロワー数4,681件 ・LINE友だち数1,361件 ・Xフォロワー数576件 	⇒	⇒	⇒	⇒
	<ul style="list-style-type: none"> ・Instagramフォロワー数5,701件 ・LINE友だち数2,908件 ・Xフォロワー数1,413件 		<ul style="list-style-type: none"> ・Instagramフォロワー数6,308件 ・LINE友だち数3,522件 ・Xフォロワー数2,244件 	<ul style="list-style-type: none"> ・Instagramフォロワー数6,675件 ・LINE友だち数4,193件 ・Xフォロワー数2,376件 	
<p>やわたブランド創造事業</p> <p>商工会等と連携した特産品認定の仕組みづくりや特産品の開発とPRを実施</p>	やわたブランド審査委員会設置	「ヤワタカラ」第1回認定	「ヤワタカラ」第2回、第3回認定 14品目認定(認定総数31品目)	「ヤワタカラ」第4回、第5回認定 2品目認定(認定総数33品目)	

淀川舟運整備推進	<ul style="list-style-type: none"> ・淀川舟運整備推進協議会協議会参加 ・国への要望活動 	<ul style="list-style-type: none"> ・淀川舟運整備推進協議会、淀川舟運活性化協議会参加 ・国への要望活動 	⇒	⇒
ボランティアガイド養成	中止	開催 空中茶室バーチャル体験&ネットツアーの養成講座	⇒ 鎌倉時代歴史文化再発見ツアーに関する養成講座	⇒ 鎌倉時代歴史文化再発見ツアーに関する養成講座

4 みんなで創る多機能な力を有したまちの創生「住んでよしのやわたチャレンジプロジェクト」

この状況の達成率	目標値を達成(◎)		7件	39%
	「前年度実績」より前進または同値(○)		5件	28%
	「前年度実績」より後退(△)		6件	33%

基本目標	現状値(H30)	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	目標値(R6)	達成状況	左記4年間の実績の評価及び次期総合戦略の策定に向けた取組の方向性
転出入者数	▲215人	▲272人	▲73人	9人	未公表 (参考:市人口集計表:212人)	0人以上	◎	転入超過となっている。しかしながら、転入超過に寄与しているは20代の外国人であり、同世代の日本人は転出超過の状況が継続している。今後、外国人を受け入れつつ、日本人も定住し続けたい。まちづくりが必要となっている。
地域で活動する団体や住民が連携するネットワークの設置数	4団体	7団体	7団体	7団体	7団体	6団体	◎	談話を通して、地域の話し合いの場づくりを行い、当初の目標を達成することができた。今後も引き続き談話を通して、住民同士の話し合いの場づくりを行う。
まちの魅力度(全国順位)	381位	440位	384位	469位	491位	200位以上	△	目標達成はできていないが、点数は当初より上がっている。他市町も同様に取り組んだ結果、相対的にランクが低下したと思われる。引き続き、市の認知度向上を図るとともに魅力あるまちづくりに努めたい。 (点数の推移: H30が6.5、R2以降が7.0→9.7→7.9→7.4)
創業支援の相談者のうち創業に至った件数	1件	3件	10件	5件	3件	4件	△	相談件数は年によって異なるが、期間内に目標値に至った。創業支援の関係機関と連携を密にし、創業の機運醸成を図る取り組みを進める。
認定農業者数	73人	66人	65人	65人	60人	78人	△	高齢化等により減少傾向にある。関係団体等との連携により、認定農業者及び新規就農者の育成・確保を進める。
八幡市ボランティア連絡協議会登録団体の所属人数	285人	266人	307人	272人	258人	310人	△	近年、ボランティア活動者の高齢化等により活動の継続が困難となる団体もあった。今後は福祉意識やボランティア意識の底上げを図る情報発信等の取組を行う。

<各施策の具体的事業の進捗状況>

(1) 「日本一魅力的なスローライフタウン」へのチャレンジ

KPI	現状値(H30)	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	目標値(R6)	達成状況	左記4年間の実績の評価及び次期総合戦略の策定に向けた取組の方向性
松花堂庭園茶室利用者数	823人	131人	732人	2,243人	2,079人	3,000人	△	コロナ禍では利用者数が激減したが、現在はコロナ以前の利用者数より多くなっている。SNS等を活用し、広く施設を周知し新たな利用者の確保を目指す。
収穫体験参加者数	171人	217人	230人	270人	312人	310人	◎	屋外イベントのため、コロナ禍の影響もなく参加者の増加に繋がる。引き続き収穫体験を通して農産物への需要と地産地消の推進に努める。
わがまち・八幡への愛着や誇りを感じる市民の割合 総合計画策定の際の市民に対するアンケート調査	49.9%(H28)	R3取得予定	53.0%	R9取得予定	R9取得予定	55.0%(R3)	○	目標は未達成となったが、現状値よりも進捗している。引き続き、目標達成に向けて、まちの魅力発信等に取り組む。
リカレント教育推進講座の受講者数	545人	中止	417人	527人	529人	650人	○	新型コロナウイルス感染症の影響により、R3は目標値より減少したが、R4・R5ともにH30の現状値の実績に近づいた。広報活動等を行い、今後もさらなる受講者数の獲得に努める。
市域就職面接会で就業に至った人数	4人	1人	中止	3人	2人	6人	△	コロナ禍の影響で年1回の開催や中止となり、目標値に達しなかった。参加者数の減少が課題であるため、開催時期等の開催方法を変えて参加者数の増加を目指す。
居注意欲度(全国順位)	259位	307位	224位	292位	270位	150位以上	○	目標達成はできていないが、点数は当初より上がっている。他市町も同様に取り組んだ結果、相対的にランクが低下したと思われる。引き続き、市の認知度向上を図るとともに魅力的なスローライフタウンを目指し、まちづくりに努めたい。 (点数の推移: H30が5.3、R2以降が5.7→7.5→6.9→6.7)

① 環境と調和したしごとの創出

事業	R2	R3	R4	R5
個別就職相談会	開催 相談件数16件	⇒ 相談件数27件	⇒ 相談件数32件	⇒ 相談件数47件
市域就職面接会	開催 就職者数1人	中止	開催 就職者数3人	⇒ 就職者数2人
就職困難者就労対策	実施 就労パソコン講座参加者数8人	⇒ 就労パソコン講座参加者数10人	⇒ 就労パソコン講座参加者数11人	⇒ 就労パソコン講座参加者数12人
生産緑地法の運用	運用 現況調査等	⇒ 特定生産緑地指定申請受付・現況調査等	⇒ 特定生産緑地指定、生産緑地地区の変更、現況調査	⇒ 生産緑地地区の変更
京都市府市町村企業誘致推進連絡会議	負担金支出	負担金支出、パンフレット・動画作成	負担金支出、企業誘致説明会参加(2回)	負担金支出、企業誘致説明会参加(1回)
商工会活動助成	中小企業知恵の経営ステップアップ事業・まちゼミ事業	中小企業知恵の経営ステップアップ事業・やわたフェスタ開催事業	中小企業知恵の経営ステップアップ事業・まちゼミ事業・やわたフェスタ開催事業	中小企業知恵の経営ステップアップ事業・まちゼミ事業・やわたフェスタ事業
やわたブランド創造事業【再掲】 商工会等と連携した特産品認定の仕組みづくりや特産品の開発とPRを実施	やわたブランド審査委員会設置	「ヤワタカラ」第1回認定	「ヤワタカラ」第2回、第3回認定14品目認定(認定総数31品目)	「ヤワタカラ」第4回、第5回認定2品目認定(認定総数33品目)

② 男山地域の再生

事業	R2	R3	R4	R5
だんだんテラス運営支援 地域コミュニティ拠点施設「だんだんテラス」の運営支援及び活動費に対し助成	助成 365日開設 だんだん通信発行、やってみよう会議	⇒ 365日開設 だんだん通信発行、やってみよう会議	⇒ 365日開設 だんだん通信発行、やってみよう会議	⇒ 365日開設 だんだん通信発行、やってみよう会議
地域コーディネーター配置 だんだんテラスに様々な団体との連携や団体間を結びつける役割のコーディネーターを配置	配置 1名	⇒	⇒	⇒
おひさまテラス助成【再掲】 男山地域の地域子育て支援施設「おひさまテラス」に対し、事業費の一部を助成	助成 利用児童685人	⇒ 利用児童519人	⇒ 利用児童889人	⇒ 利用児童784人

③ 自然と調和したまちの魅力の創出

事業	R2	R3	R4	R5
花のまちづくり推進 自治会等が実施する事業を対象にみどりの基金を活用して花の苗等を支給	実施 参加 延33団体	⇒ 参加 延38団体	⇒ 参加 延46団体	⇒ 参加 延40団体
スマート・エコ祭開催 環境について考える機会を創出するための啓発イベントを実施	中止	⇒	開催 参加者数 約 250人	⇒ 参加者数 約 300人
就学前環境教育推進	中止	実施 環境教育絵本 を作成し、配布	⇒ 市内幼稚園・保育園において、地球レンジャーによる環境教育についての大型紙芝居を作成・上演	⇒ 市内幼稚園・保育園において、地球レンジャーによる環境教育についての大型紙芝居を作成・上演
農産物収穫体験 八幡農業ボランティアの主催により、各種農産物の収穫体験を実施	実施 参加人数217人	⇒ 参加人数230人	⇒ 参加人数 270人	⇒ 参加人数 312人
市民農園管理運営 農業への理解促進及び都市と農村との交流促進を図るため、市民レクリエーション農園管理組合の管理する農園を市民等に賃貸する	運営 賃貸83区画(全118区画)	⇒ 賃貸84区画(全116区画)	⇒ 賃貸86区画(全116区画)	⇒ 賃貸89区画(全116区画)
農産物直売所運営	運営費助成	⇒	⇒	⇒
地元産米・味噌給食利用促進 八幡市学校給食運営委員会が行う地元産米・味噌給食利用促進事業に対し助成	助成 米 38,950kg 味噌2,023.4kg	⇒ 米 55,800kg 味噌1,410.5kg	⇒ 米 53,340kg 味噌1,702kg 白味噌655.7kg	⇒ 米53,200kg 味噌1,983.4kg 白味噌670.4kg

④ やわたへの愛着と誇りの醸成

事業	R2	R3	R4	R5
生涯学習推進	推進 ・講座開設 開設18講座 延 1,591人参加 ・生涯学習開講式・生涯学習フェスティバル 中止 ・学習情報の提供・学習相談 学習相談 2件 ・生涯学習センターだより発行	⇒ ・講座開設 開設20講座 延 2,865人参加 ・生涯学習開講式・生涯学習フェスティバル 中止 ・学習情報の提供・学習相談 学習相談 0件 ・生涯学習センターだより発行	⇒ ・講座開設 開設16講座 延 4,000人参加 ・生涯学習開講式・生涯学習フェスティバル 延910人参加 ・学習情報の提供・学習相談 学習相談 0件 ・生涯学習センターだより発行	⇒ ・講座開設 開設16講座 延 4,000人参加 ・生涯学習開講式・生涯学習フェスティバル 延1,984人参加 ・学習情報の提供・学習相談 学習相談 0件 ・生涯学習センターだより発行
市民図書館の運営	運営 ・貸出冊数 449,697冊 ・蔵書数 261,020冊 ・購入数 13,048冊 ・自動車文庫の運行 93回	⇒ ・貸出冊数 501,702冊 ・蔵書数 245,681冊 ・購入数 13,187冊 ・自動車文庫の運行 104回	⇒ ・貸出冊数 486,094冊 ・蔵書数 242,292冊 ・購入数 13,461冊 ・自動車文庫の運行 104回	⇒ ・貸出冊数 498,551冊 ・蔵書数 243,702冊 ・購入数 12,445冊 ・自動車文庫の運行 114回
子ども国際交流【再掲】 友好都市マイラン村への訪問・交流	中止	-	-	-
八幡市・八幡浜市中学生交流【再掲】 郷土に対する誇りと魅力を再認識し、豊かな人間性や社会性を育むことを目的として、二宮忠八翁の縁でつながる愛媛県八幡浜市と本市の中学生による体験活動を通じた交流を実施	中止	中止	八幡市で交流実施	八幡浜市で交流実施
文化財の保存・活用 文化財調査・発掘、文化財所有者への支援、八角堂内期間限定公開等	実施 八角堂内期間 限定公開 年2日実施、来 場者 延150人	⇒ 八角堂内期間 限定公開 年2日実施、来 場者 延270人	⇒ 八角堂内見学 及び期間限定 公開 堂内見学:2回、 延29人 期間限定公開: 1回(年2日)、 延250人	⇒ 八角堂内見学 及び期間限定 公開 堂内見学:1回、 延7人 期間限定公開: 1回(年2日)、 延348人
文化財講座等開催【再掲】	開催 講座等開催 1 回	⇒ 講座等開催 2 回	⇒ 講座等開催 1 回	⇒ 講座等開催 3 回

(2) 「人と人が支え合う暮らしの絆づくり」へのチャレンジ

KPI	現状値 (H30)	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	目標値 (R6)	達成状況	左記4年間の実績の評価及び次期総合戦略の策定に向けた取組の方向性
日本語教室の在籍者数	35人	112人	115人	90人	92人	50人	◎	日本語教室「世界はテマン」の活動に対し、市内公民館の施設利用料・印刷費の減免による支援を継続的に行っており、教室在籍者数も高い数値で推移していることから、引き続き支援を実施する。また、日本語指導ボランティアの養成にも取り組んでおり、民間団体と連携し、継続的に体制の充実に検討する。
地域で活動する団体や住民が連携するネットワークの設置数	4団体	7団体	7団体	7団体	7団体	6団体	◎	談話を通して、地域の話し合いの場づくりを行い、当初の目標を達成することができた。今後も引き続き談話を通して、住民同士の話し合いの場づくりを行う。
就労系福祉サービス利用者及び一般就労移行者の数(延べ人数)	1,947人	2,293人	2,421人	2,466人	2,615人	2,500人	◎	年々実績も増加しており、必要な就労サービスの提供ができていると考えている。また、就労意欲の引き出しや、就労を望む方が就労し、継続できる取り組みの協議を関係機関とすすめていく。

① コミュニティ活動による地域づくりの推進

事業	R2	R3	R4	R5
自治会等活動支援 自治連合会活動事業助成、市民自治推進交付金、自治振興助成、自治会活動保険加入料助成、自治組織団体加入促進資料作成・配布等	実施	⇒	⇒	⇒
自治会活動室管理運営 自治会活動室を管理し、自治組織団体へ貸出	運営 貸出 0件	⇒ 貸出 0件	⇒ 貸出 22件	⇒ 貸出 65件
【R4終了】絆ネットワーク構築支援【再掲】 男山地域にコーディネーターを配置し、地域のネットワーク構築等を支援	構築支援 コーディネーター配置1名	⇒ コーディネーター配置1名	⇒ コーディネーター配置1名 R5年度より	- 「わたしたちの談話」プロジェクトと統合
「わたしたちの談話」プロジェクト【再掲】 地域福祉活動やボランティア活動への参加促進のための座談会を、八幡市社会福祉協議会と協働で提供	座談会開催 2回	⇒ 9回	⇒ 9回	⇒ 絆ネットワーク構築支援と統合 17回
地域で支える学校教育推進【再掲】 全中学校区に設置された各学校支援地域本部に対し、学校と地域との連携を図る地域コーディネーターを配置し、活動経費の一部を助成 小・中学校区地域連携団体に対し、連携事業・学校支援事業・児童生徒のふるさと体験学習・特別体験学習の推進に向けた活動費の一部を助成	・学校支援地域本部活動支援(コーディネーター配置) 4人(活動助成) 4団体 ・地域連携教育活動助成 12団体	⇒	⇒	⇒

② 多様な人々が互いに支え合い安心して暮らせる共生社会の推進

事業	R2	R3	R4	R5
日本語教室の開催支援	実施 公民館にて実施 129回	⇒ 公民館にて実施 161回	⇒ 公民館にて実施 221回	⇒ 公民館にて実施 252回
多文化共生に向けた啓発	実施 「くらしの相談事例集」の作成 (やさしい日本語、ベトナム語、ポルトガル語)、講座、啓発活動、広報	⇒ 「くらしの相談事例集」の作成 (英語)、講座、啓発活動、広報	⇒ 「くらしのそらだん事例集」の活用、出前講座1回 啓発活動(広報やわたへのコラム掲載)	⇒ 「くらしのそらだん事例集」の活用、生活オリエンテーション2回開催
男女共同参画社会の推進 男女共同参画プラン推進、やわた男女共同参画フェスティバル開催、男女共同参画リーダーの養成、「男女共同参画事業女性の船」への参加等	推進 ・男女共同参画プラン一歩計画Ⅲ策定 ・やわた男女共同参画一歩フェスティバル中止 ・男女共同参画リーダー養成講座 参加者12名 ・「男女共同参画事業女性の船」への参加中止	⇒ ・男女共同参画プラン一歩計画Ⅲ推進 ・やわた男女共同参画一歩フェスティバル中止 ・男女共同参画リーダー養成講座 参加者24名 ・「男女共同参画事業女性の船」への参加中止	⇒ ・男女共同参画プラン一歩計画Ⅲ推進 ・やわた男女共同参画一歩フェスティバル参加者61名 ・男女共同参画リーダー養成講座 参加者17名 ・「男女共同参画事業女性の船」への参加中止	⇒ ・男女共同参画プラン一歩計画Ⅲ推進 ・やわた男女共同参画一歩フェスティバル参加者72名 ・男女共同参画リーダー養成講座 参加者20名 ・「男女共同参画事業女性の船」への参加
社会福祉協議会福祉事業助成	活動助成	⇒	⇒	⇒
障がい者行事参加支援 京都府の実施する障がい者を対象とした行事への参加について、財政的支援を実施	中止	中止	実施 京都府主催ふれあい広場参加 参加者 13名	⇒ 京都府主催ふれあい広場参加 参加者 13名
地域共生社会実現サポート 社会福祉法人が実施する社会貢献活動や処遇改善等に助成	助成 2法人	⇒ 2法人	⇒ 2法人	⇒ 2法人
ふれあい福祉センター運営 地域における要援護高齢者等の各種相談等を福祉会館内にて運営	運営 利用者数 延 85人	⇒ 利用者数 延 101人	⇒ 利用者数 延 101人	⇒ 利用者数 延 105人
【R4終了】絆ネットワーク構築支援【再掲】 男山地域にコーディネーターを配置し、地域のネットワーク構築等を支援。	構築支援 コーディネーター配置1名	⇒ コーディネーター配置1名	⇒ コーディネーター配置1名 R5年度より	- 「わたしたちの談話」プロジェクトと統合
「わたしたちの談話」プロジェクト【再掲】 地域福祉活動やボランティア活動への参加促進のための座談会を、八幡市社会福祉協議会と協働で提供	座談会開催 2回	⇒ 9回	⇒ 9回	⇒ 絆ネットワーク構築支援と統合 17回

(3) やわたEDISONチャレンジ！

KPI	現状値(H30)	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	目標値(R6)	達成状況	左記4年間の実績の評価及び次期総合戦略の策定に向けた取組の方向性
創業相談件数	28件	36件	49件	10件	16件	40件	○	相談件数が近年は目標値に達しなかった。令和5年度に創業支援等事業計画の期間延長を申請し、国から承認を得たことで、関係機関とワンストップ窓口の充実や創業塾の開催などを図るほか、創業の機運醸成に取り組む。
担い手農家の農地利用集積面積	121ha	131ha	130ha	130ha	130ha	130ha	◎	高齢化で耕作できなくなりそうな農地を、担い手農家に担っていただき、増加に繋がっている。引き続き周知に努める。
市民協働活動センター利用人数	2,029人	926人	771人	1,236人	1,426人	2,200人	○	回復傾向となってはいるが、コロナ禍の影響で活動が自粛されたことやセンターの利用を制限したことにより、目標値との大きな乖離が生じている。引き続き広報等周知に努めるなど、利用促進に取り組む。

① 八幡発の創業の推進

事業	R2	R3	R4	R5
ワンストップ相談窓口設置 ワンストップ相談窓口を設置し、相談者を総合的に支援することができる創業支援員を配置。	運用 市相談件数 23件	⇒ 市相談件数 49件	⇒ 市相談件数 8件	⇒ 市相談件数 8件
融資保証料補給(開業・経営承継支援資金) 京都府中小企業融資制度の開業・経営承継支援資金による融資を受けた者に対し、保証料の一部を補給。	実施 創業に係る保証料補給件数 7件	⇒ 創業に係る保証料補給件数 0件	⇒ 創業に係る保証料補給件数 2件	⇒ 創業に係る保証料補給件数 4件
融資利子補給(新創業融資制度) 日本政策金融公庫の新創業融資制度による融資を受けた者に対し、利子の一部を補給。	実施 創業に係る利子補給件数 7件	⇒ 創業に係る利子補給件数 8件	⇒ 創業に係る利子補給件数 12件	⇒ 創業に係る利子補給件数 17件
商工業活性化事業 地域に根差した商工業活動の活性化を図り、活力ある地域経済・地域社会を目指すため、事業者等への商工業振興にかかる各種取組に対し、助成	-	-	実施 補助件数 20件	⇒ 補助件数 20件

② 農業の担い手の育成・強化と生産基盤の強化

事業	R2	R3	R4	R5
地域農業担い手認定者支援 地域農業の担い手認定者の経営規模拡大に向けた活動支援、農機具・貨物自動車等の購入・修理を行う八幡市農業経営者会議に対し、活動費の一部を助成	助成 新規認定者 2名 再認定者 6名	⇒ 再認定者 6名	⇒ 新規認定者 1名、再認定者 6名	⇒ 新規認定者 1名、再認定者 14名
農業用施設改修等助成 農業用揚水機・農業用排水路の新設、修理、改修に係る1事業あたり950万円以上の工事に助成。	助成 3件	⇒ 2件	⇒ 2件	⇒ 1件
排水事業負担軽減 綴喜西部土地改良区における排水機等の維持管理にかかる賦課金の農家負担軽減を図るため、綴喜西部土地改良区に対し、事業費の一部を助成。	八幡市域における綴喜西部土地改良区の組合員の負担軽減	⇒	⇒	⇒
有害鳥獣駆除 有害鳥獣による農林業の被害を減少させるため、有害鳥獣を捕獲	実施 43回出動	⇒ 52回出動	⇒ 52回出動	⇒ 52回出動
農地の利用集積推進 耕作放棄地の発生防止や農家の経営安定化等を図るため、農業委員及び農地利用最適化推進委員による農地パトロールやアンケート調査を基に農地の利用集積を推進	推進 集積 277,101㎡	⇒ 集積 114,882㎡	⇒ 集積 160,082㎡	⇒ 集積 284,066㎡
スマート農業実装チャレンジ事業 作物生産の作業性・生産効率向上に必要なスマート農業技術を搭載した機械及び設備の導入に対し助成	助成	⇒ 2団体、1名	⇒ 2法人、1名	⇒ 1法人
アグリチャレンジング支援事業 担い手農家等が新たに行う収量拡大や品質向上、加工品開発等の取組や農業活性化協議会が行う農産物販売強化活動を支援	-	-	-	助成 1団体、4法人、1名

③ まちづくりの担い手の育成

事業	R2	R3	R4	R5
市民協働活動センター管理運営 NPO等、非営利での市民活動団体の共有スペース及び情報発信拠点として運営を実施	管理運営 登録団体 14団体 利用人数 延 919人	⇒ 登録団体 15団体 利用人数 延 771人	⇒ 登録団体 15団体 利用人数 延 1,236人	⇒ 登録団体 15団体 利用人数 延 1,426人
市民協働活動事業助成 市民活力の醸成と市民自身によるまちづくりを目指し、NPO立上げ、法人化への支援を実施	助成 市内登録団体 25団体	⇒ 市内登録団体 26団体	⇒ 市内登録団体 27団体	⇒ 市内登録団体 25団体
生涯学習推進(生涯学習人材バンクの活用)	活用 生涯学習人材バンク 登録102人 紹介0人	⇒ 生涯学習人材バンク 登録104人 紹介0人	⇒ 生涯学習人材バンク 登録105人 紹介0人	⇒ 生涯学習人材バンク 登録103人 紹介2人